

# キャリア教育だより

令和3年12月16日  
第122号  
高校教育課

## 令和4年3月卒業予定者の就職内定状況 ~前年12月末比3.7ポイント減~

宮城労働局の令和3年11月末現在の就職内定状況がまとまりましたのでお知らせします。

宮城県内高校生の11月末現在の就職内定状況は、卒業予定者18,627人、就職希望者3,755人に対し、就職内定者3,178人で、内定率84.6%となっています。前年12月末との比較では**3.7ポイントの減少**となりました。(※昨年度は10月16日が就職試験解禁であったため12月末との比較とした。)就職内定者のうち、県内内定率は83.0%(希望者3,084人、内定者2,560人)、県外内定率は92.1%(希望者671人、内定者618人)となっており、県内内定率は昨年より3.7ポイント減少し、県外内定率も3.8ポイント減少している結果となりました。

宮城労働局の発表では、10月末現在、県内高卒求人数は9,338人で、県内就職希望者に対する求人倍率は3.52倍となっています。就職未内定者の皆さんについては、最後まで諦めずに、希望の進路達成に向けて頑張ってください。

内定を得た生徒の皆さん、おめでとうございます。これから卒業までの間は、来春の入社に向け、社会人になるための準備をしましょう。

高校教育課では例年、11月下旬から2月にかけて、就職が内定した生徒を対象に、社会人としての基礎的なマナー、知識を身につけることを目的とした「**みやぎ高校生入社準備セミナー**」を実施しています。社会人になった時に、役立つことを学べる非常によい機会になっていますので、ぜひ参加してください。

また、今年度は生徒と同様に保護者向けの「高校生の就職を考える保護者セミナー(入社準備編)」をYouTubeで限定公開します。視聴申し込みは学校単位となりますので、希望の場合は先生方に相談してみてください。なお、申し込みは無料です。



## 高大連携事業地域公開講座について

高校教育課では、高校生が自ら学ぶ意欲を高め、興味・関心をもつ学問分野への理解を一層深めるとともに、主体的な進路選択を行い、進学後、大学の学習と生活に滑らかに接続できるようにするため、県内大学における公開授業や公開講座等を開設しています。

10月12日に今年度最後の地域公開講座が石巻高校を会場に行われ、県内の国公立大学、私立大学の講義を、合計236名が受講しました。

地域公開講座では、大学の高度な講義を受講することができ、受講者にとっては貴重な体験になります。自分の学校で開催されない場合でも、他校の公開講座に参加をすることができます。地域公開講座は来年度も実施する予定でありますので、1、2年生のみなさんはぜひ参加してみてください。

### 【受講生の感想より】

・実際の歴史史料を用いながら、大学の教授はどのようにして歴史の研究をしているのかを知ることができた。自分の希望する職種との違いを確認することができた。偏りのない視点で真実を探る姿勢は多くの職種とつながっていると思った。(東北大学文学部 安達宏昭教授「日本史研究の意義と方法」受講者)

・内部のマネジメントは必要十分条件で外部のほうが大切という話がとても意外でした。ビジネスや地域活性化は、みんなが買いそう、売れそうといったものだけでなく葉っぱや竹など、その地域ならではの自然のものを売り出すのも大事だと分かった。(宮城大学事業構想学群 石田祐教授「地域活性化とビジネス」受講者)

・今までは「著作権」や「特許権」についてあまり知識を持っていませんでしたが、今回の講義でたくさんのことを学べた。今後の生活では、自分も著作権法に違反してしまう可能性があるということをしっかり頭に入れておきたい。

(東北学院大学法学部 辻田芳幸教授「知的財産法の基本的な考え方について」受講者)

